

教育目標・自律した学習者になる

【教育理念】

「聴く学校」

めざす教師像：傾聴と愛語により生徒の学習意欲を高める教師

めざす学校像：授業づくりを根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、ともに学ぶ対話を基盤とした授業を通して、自己調整学習力を高め、自律した学習者を育成する

ともに学ぶ対話を基盤とした授業

問題を設定する → 問題について話す → ひとりで解決策を考える → 友と話す → 解決策を修正する
→ 修正した解決策を伝える → 振り返って今日の一番大切だと思うことを表す

めざす生徒像

- ・自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒
- ・筋道立てて考え、気づいたことを適切に伝える生徒
- ・自分に必要な学習を自覚し、進んで取り組む生徒

《 教育課題と重点 》

教育課題

対話の質を高めること

(重点1・学びづくり)

智慧を出し合わなければ乗り越えられない必然性・切実感のある問題・課題により対話を活性化する

(重点2・関係づくり)

生徒一人ひとりのよさを認める教師の評価をモデルとして、生徒間に生産的な人間関係を構築する

《 教育システム 》

○自律した学習者が育つ学習システム

- ・自己調整学習力が高まる教科等横断的な教育課程を編成する。
- ・単元ごとに知識・技能の習得状況がわかる確認テストを実施するとともに、任意で再挑戦できるチャレンジテストの場を企画する。

○地域との協働システム (CS：コミュニティスクール)

- ・学校職員と運営協議会委員の合同研修を企画し、学校運営協議会制度に基づく学校づくりのあり方について理解を深める。

○職員の研修システム

- ・ミッション探索カードを活用する教頭との懇談を通して、職員が仁科台中学校における使命と課題を明らかにする。